

私は、この請願第4号子供に行き届いた教育を求める内容に反対の立場で討論いたします。この請願は子供たちの命と健康を守るため、また、災害時における安全な避難場所となるよう全ての小中学校体育館へエアコン整備を早急に設置する事を求める内容ですが、私も整備の必要性に関しては賛同するところではあります。

しかしながら、設置に関する予算の確保案もなく、ほかに優先しなければならない課題も多くあることから、この請願には反対の立場でございます。

まず、コストについてですが、近隣市の流山の事例では令和5年夏までに小中学校27校で整備導入する際の予算額は20億円ございました。単純割で計算すると1校当たり7,400万円です。

野田市の公立小中学校で考えると30校あるわけですから、約22億円かかり、市の教育委員会に予算規模を確認したところ、流山市とおおよそ同じ予算規模になるとのことでした。

この厳しい財政状況の中では市債発行しての整備を含めて借金をすることになり、市が多くの財源を持ち出して整備することは将来的に、そのツケは子供たちに回ります。

本来であれば国が全額予算をつけ、整備することが当然の事案と考えております。

また、優先順位についても教育委員会に確認したところ、校舎の老朽化の修繕等が喫緊の課題であるとの回答がある事からも体育館へのエアコン設置は必ず必要であるとの考えはありますが、財源の確保が厳しい中で、ほかに必要とされる校舎の修繕など優先すべき課題が多くあることを鑑みても、早急に整備しようという内容の請願に対しては反対といたします。